

作成日 2018年 6月14日
改訂日 年 月 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	アルボース クリーンリキッドEX
会社名	株式会社 アルボース
住所	大阪府中央区備後町2-4-9 (日本精化ビル)
電話番号	06-6204-4466 FAX番号 06-6204-1400
記載内容問合せ 及び緊急連絡先 整理番号	078-413-3663 (研究開発課) AH-55

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 爆発物 可燃性又は引火性ガス エアゾール 支燃性又は酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性化学品	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分3 分類対象外 分類対象外 区分外 分類対象外 分類できない 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない
健康有害性	: 急性毒性 (経口) 急性毒性 (経皮) 急性毒性 (吸入: 気体) 急性毒性 (吸入: 蒸気) 急性毒性 (吸入: 粉じん及びミスト) 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分外 区分外 分類対象外 分類できない 分類できない 分類できない 区分2B 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分1A 区分3 (気道刺激性、 麻酔作用) 区分1 (肝臓) 区分2 (中枢神経系)
環境有害性	: 吸引性呼吸器有害性 水生環境有害性 (急性) 水生環境有害性 (長期間) オゾン層への有害性	分類できない 区分外 区分外 分類対象外

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 引火性液体及び蒸気
眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓）の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（中枢神経系）の障害のおそれ

注意書き : 【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
ミスト/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
【応急措置】
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
火災の場合：消火するために適切な方法をとること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
【保管】
施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
【廃棄】
内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : アルコール製剤
 成分及び含有率 : ・エタノール 35～45%
 ・クエン酸
 ・クエン酸三ナトリウム
 ・グレープフルーツ種子抽出物
 ・さとうきび抽出物
 ・水
 ・その他

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。めまいなどの症状がひどい場合は、直ちに医師の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 流水にて洗い流す。
 眼に入った場合 : 清浄な水で最低15分間以上洗眼した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
 飲み込んだ場合 : すぐにコップ1～2杯の牛乳または水を飲ませ、誤飲したものを薄めたり食道や粘膜を保護する。無理に吐かせてはいけない。嘔吐や下痢症状が激しかったり様子がおかしい場合は医師に相談する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、アルコール。
 消火方法 : 初期の火災には、大量の水または、消火剤を用いて消火する。また、延焼を防ぐため周辺にも水を噴霧する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出時の処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
 保護具及び緊急時措置
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出源を遮断し、漏れをとめる。吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
 二次災害の防止策 : 浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除くとともに、消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。取扱については、火気のない換気のよい場所で行う。
 安全取扱い注意事項 : みだりに火気その他点火源となる恐れのあるものに近接させ、若しくは注ぎ蒸発させ、又は加熱しないこと。取り扱う場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの、又は酸化性のものを置かないこと。
 保管
 安全な保管条件 : 保管は通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。また、火気その他危険な場所から遠ざけ通風をよくし、温度、湿度、遮光に注意し、密栓して、冷暗所に保管する。幼児の手の届かないところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱については、火気のない換気のよい場所で行う。
 管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度 : ACGIH TWA 1,000ppm (エタノール)
 保護具 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 無色透明液体
臭い	: アルコール臭
pH	: 3.2
引火点	: 28.5℃
比重	: 0.94
爆発特性	: (エタノール分100%として) 上限19.0vol% 下限3.3vol% (空气中)
溶解性	: 水に良

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常条件で安定。
化学的安定性	: 通常条件で安定。

11. 有害性情報

GHS分類

当該製品のデータが無いため、配合成分の混合物として、GHS分類した。

眼に対する重篤な 損傷性又は眼刺激性	: 加毒性判定の結果、区分2Bとした。 眼刺激
生殖毒性	: 加毒性判定の結果、区分1Aとした。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 加毒性判定の結果、区分3とした。 呼吸器への刺激のおそれ、眠気又はめまいのおそれ
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 加毒性判定の結果、区分1(肝臓)とした。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 加毒性判定の結果、区分2(中枢神経系)とした。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

12. 環境影響情報

GHS分類

当該製品のデータが無いため、配合成分の混合物としてGHS分類した結果、全ての項目で該当基準に満たなかった。

13. 廃棄上の注意

: 水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。
または、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: UN1170
国連分類	: クラス3 (引火性液体類)
容器等級	: III
国内規制	: 適用法令の定めるところに従う。
輸送又は輸送手段に 関する特別の安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめて、転倒、落 下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に 行う。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理 促進法 (PRTR法)	: 第一種指定化学物質 第二種指定化学物質	該当せず。 該当せず。
労働安全衛生法	: 表示対象物質 通知対象物質	エタノール エタノール
毒物及び劇物取締法	: 該当せず。	
消防法	: 危険物に該当せず。	
化審法	: 特定化学物質・監視化学物質	該当せず。

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先：株式会社 アルボース
住所 神戸市東灘区本山南町5-4-55
担当部門 研究開発課
電話番号 078-413-3663 FAX番号 078-413-3986

【注意】

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
法令の改正及び新しい知見に基づいて改正されることがあります。
注意事項は通常の実施を前提としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
すべての化学品には未知の有害性があり得るために、取扱いには細心の注意が必要です。
ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
記載された物性値、含有率などは、製品の一般的な値を示した物で、規格値、保証値ではありません。